



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.11 (140)

2015.11.27

いよいよ本年も「締め」の時節に入ります。思い起こせば、「平穏無事」の1年のようですが、「医学統計研究会」にも新しい事象の波が押しよせてきているようです。とくに、「新旧」交代に向けて、その対応および準備を怠りなく皆様とともに進めたいと存じます。ご協力よろしく願います。

1 特定主題セミナー2015「臨床評価における計算環境Rとその課題」が以下の次第で開催されました [敬称略]。

日時：2015年11月14日（金）. 13時30分～17時.

会場：豊中市中央公民館

懇親会は「丹波黒どり農場」で開かれ、15名の方々が参加されました。

以下に本セミナーに参加された方々からいただいた「アンケート」をご紹介します。アンケートをお寄せいただいた方々には深く感謝いたします。

主題および講演・討論についてのご意見・ご感想

- ・標本サイズの計算でシミュレーションを使うことがあるため、とても勉強になりました。実際に自分自身で手を動かして、実感してみようと思える講義でした。 (匿名)
- ・Rの基礎がよくわかり、有意義なセミナーでした。 (匿名)
- ・具体的な解析方法についてもお聴きしたい箇所がありました。 (匿名)
- ・実務でもRを使うことがあり、シミュレーションやパッケージの使用例などを学ぶことができてよかった。また、分散処理についての情報を知ることができたこともよかった。 (F・Y)
- ・どの講演も大変に有益な内容で、Rを使って解析していこうという意欲をもつことができました。資料が白黒なので、グラフの折線など、スライドでは判別できても資料の上でわからない内容もあったので、(②-P.32など) 配慮していただくとよいと思います。 (匿名)
- ・大変によい勉強になりました。 (匿名)

今後とりあげるべき主題や話題についてのご意見・ご提案

- ・生存時間解析, 統計的因果推論, 欠測データの扱いなどの主題。 (匿名)
- ・シミュレーションに必要な基礎に関する内容に関して, ブーストラップ法など, いろいろな方法を例にしたセミナーを開いていただきたい。 (匿名)
- ・欠測値の解析, 適応型デザインなどのチュートリアル・セミナーを開催してほしい。 (匿名)

特定非営利活動法人 医学統計研究会の諸種の活動についてのご要望・ご提案

- ・毎回到って興味深いテーマで企画されていますが、会費が高いため、頻りに参加できないのが残念です。 (匿名)
- ・大阪での開催をお願いします。SkypeなどのWebソフトで受講できるようにしていただくと、東京でのセミナーでも自宅から参加可能になるのですが。 (匿名)

お礼：本セミナーにご参加いただいた方々、講師の下川敏雄、杉本知之、坂本 亘、安部文武の諸先生、また座長として討論を先導していただいた藤澤正樹さんに心よりお礼を申し上げます。先生方には、本セミナーの企画から実施までの諸々の過程にわたり、お世話いただきました。さらに、企画・立案から実施までの過程でご支援いただいた池田敏広、吉川隆範の方々に心よりお礼を申し上げます。本セミナーでのご提案、さらには議論された内容につきましては、今後の企画の参考にさせていただきます。ありがとうございました。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(松原義弘・後藤昌司)



－特定主題セミナー2015でのひとこま－



－懇親会でのひとこま－

2 定例研究会〔東京〕が以下の次第で開催されました〔敬称略〕。

日時：2015年11月12日(木) 13時~17時

場所：ノバルティスファーマ(株)

演者・演題：

川端ゆみこ. 日内リズムにおけるべき正規分布モデルの評価.

五十川直樹. 2値応答の複数の臨床試験結果を利用するMeta-Analytic PriorおよびJoint Power Priorの性能評価.

- 丸尾和司. 経時データにおけるベキ変換に基づく中央値の差の推測について.
- 池田公俊. 負の二項回帰モデルにおける異なる追跡期間を考慮した症例数の設計.
- 古川泰伸. 生物学的同等性を証明するための被験者数の設定.
- 松原義弘. 癌領域における第II相臨床試験デザインに関して
- 後藤昌司. 「想い出すこと・思うこと：新青年の哲学」
 (日本計算機統計学会・30周年記念誌への草稿)



— 定例研究会でのひとこま —

課題検討会は「南州」で開かれ、4名の方々が参加されました。最近の「事象」について熱い議論を交わされました。

- ③ 10月24日(土)に開催されました定例シンポジウム2015「医療で必要とされる統計的基礎知識」の参加者からのご感想を以下に掲載いたします。時宜の関係で遅くなりました。ご容赦ください。

定例シンポジウム2015の主題およびご講演・討論についてのご意見・ご感想

- ・近年、世界的に Real World Date を用いた観察研究が注目されているため、今回の観察研究をテーマとしたご講演を拝聴できて良かった。青木事成先生がご講演された中外製薬様での先進的な取り組み（インターネット、SNS の情報を用いた PV）の話は新鮮で、弊社でも是非とも検討できればと思いました。藤井陽介先生の反事実モデルの考え方についても、難しい概念をわかりやすく説明されていたので、理解が深まりました。平川晃弘先生の ALS の観察研究も非常に興味深かった。 (匿名)
- ・初めて参加しましたが、医療と統計科学の関わりが広がっていることを感じます。Real World Date やインターネットでのデータなど広く大きいものになります。統計的方法も検定至上主義から大きく変遷しており、いろいろな疫学、心理学、データマイニングの考え方がとり入れられてきています。統計学の立場から、いろいろな考え方を学び、科学的に時代に則した本シンポジウムは貴重な会だと思います。本当にありがとうございました。 (匿名)
- ・テーマに沿った演者設定で、教育的なものから Hot topic まで幅広く勉強することができ、ありがとうございました。 (匿名)
- ・安全性情報に関して、SNS などのデータ収集を行う組織が FDA でもできており、様々な活動が行われていることに驚きました。今後、これらのデータからどのような結果が得られ、どのように活用されていくのかについて非常に興味をもちました。 (匿名)

- ・業務では治験に係わっており RCT なども行っており、今回のような観察研究の話題は新鮮でした。
(富田 裕)
- ・傾向スコアの意味が理解できてよかった。
(匿名)
- ・臨床研究に関する仕事も少しずつ増えてきており、今日の観察研究の例などの話を聴くことができとても参考になりました。
(吹谷芳博)
- ・普段は治験のデータばかり見ているので、疫学的、観察研究的な視点からの見方が新鮮でよくわかりました。とくに、久保田 潔先生のご講演がわかりやすくよかった。
(匿名)
- ・初めて参加しましたが、専門外の講演など、結構難しい内容でしたが、興味をもって聴かせていただきました。
(匿名)
- ・メーカで解析業務に携わっていますが、普段見ていること、携わっていることと異なる話を聴かせていただき、視野が広がったような気がします。
(S・T)
- ・治験と観察研究は同じ臨床研究として概ね似ていると思っていましたが、デザインや考慮しなくてはいけないことが観察研究では多く非常に勉強になりました。医薬品開発で統計的方法を活用するのは生物統計分野に限られるとのイメージしかなかったが、マーケティングや安全性情報の収集にも用いられていて興味の幅が広がりました。傾向スコアの講義に関しては、なぜ傾向スコアが必要なのかというところからお話いただき、とても理解しやすかった。時間の問題があったためと思いますが、実例を紹介していただけると、なお理解が深まったと思います。
(S・D)

今後とりあげるべき主題や話題およびご希望の講師についてのご提案

- ・薬物動態解析について、HBMA についてなど
(S・D)
- ・観察研究（使用成績調査含む）のデザイン設計や解析方法の傾向などを紹介いただけるとありがたいです。
(匿名)
- ・稀少疾患の臨床評価、少数例の臨床試験デザインといった内容の話をききたいと思います。
(匿名)
- ・PSA などお願いします。
(富田 裕)
- ・Real World Data の実際などがあるとよいとも思いました。データの特長法もちろんですが、統計的方法の問題点や解決法について議論できると面白いのではないのでしょうか。
(匿名)
- ・観察研究の State of Art な解析方法に理論や実例などもとりあげていただけるとありがたい(たとえば、操作変数法、G-estimation など)。
(匿名)

アンケートをお寄せいただいた方々に感謝いたします。ご意見は今後の企画の参考にさせていただきます。ありがとうございました。・・・・・・・・・・・・・・・・松原義弘・後藤昌司

4 ウィンター・フォーラム 2015 が以下の次第で開催されます。

①研究・活動報告会

日時：2015年12月5日（土）9時30分～17時30分

会場：千里朝日阪急ビル 第1会議室

住所：大阪府豊中市新千里東町1丁目5番3号 電話：06-6873-2608

プログラムの詳細は、間近かになります。近日中に配信いたします。ご参加される方々には、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。

②納会

日時：2015年12月5日（土）18時～21時

会場：「順平」

5 今後の予定をお知らせいたします。来年にわたりますので、予定に書き入れていただくと幸いです[敬称略]。

(1) 定例研究会 [東京] が以下の次第で開催されます。

日時：2015年12月17日 13時～17時

会場：ファイザー(株) 会議室

幹事：丸尾和司・五十川直樹

(2) 冬季セミナー2016鹿児島が [科学研究費C 『医学分野における非線形回帰法の理論と応用に関する研究集会』 (研究代表者：下川敏雄)] と共催で以下のように開催されます。

日時：2016年1月23日（土） 9時30分～17時

会場：鹿児島県民交流センター：中研修室

連絡先：米山昭成・勘場 貢・梅田佳史

プログラムは別途に配信予定です。

(3) 特定主題シンポジウム2016「臨床評価におけるバイオマーカの活用」が以下の次第で開催されます。

日時：2016年1月30日（土） 10時～17時30分

会場：アステラス製薬(株) 会議室

連絡先：武田健太郎・河合統介・廣岡秀樹

プログラムは以下のとおりです。

開会の挨拶 廣岡 秀樹 (アステラス製薬(株))

座長 松原義弘 (特定非営利活動法人 医学統計研究会)

・バイオマーカの情報を用いたがん臨床試験デザイン (仮)

福田 武蔵 (アステラス製薬(株))

・ TBD 大和田 章一 (第一三共(株))

・ TBD 林 賢一 (慶応義塾大学)

座長 河合 統介 (ファイザー(株))

・ 個別化医療の推進に向けたバイオマーカの臨床応用 (仮)

仲條 郁美・竹下 滋 (アステラス製薬(株))

・ TBD 山本 英晴 (中外製薬(株))

・ TBD 大庭 幸治 (東京大学)

・ パネルディスカッション

座長 武田健太郎 (アステラス製薬(株))

閉会の挨拶 後藤 昌司 (特定非営利活動法人 医学統計研究会)

(4) 大分統計談話会・第53回大会が以下の次第で開催されます。

日時：2016年2月9(火)-10日(水)

会場：富士通大分システムラボラトリ

特別講演1：柴田太郎 (国立がん研究センター)

特別講演2：松浦正章 (富士通(株))

事務局：志賀 功・衛藤俊寿

メールアドレス：isao_shiga@jp-css.com , toshihisa.eto@jp.fujitsu.com

編集後記：毎年、暮れの「借金取」のような真似はしたくありませんが、「特定非営利活動法人」としての懐具合は芳しくありません。今年度分およびそれまでの未納の方々[以下の会員番号]には、早急に納入していただくようお願いいたします。

会費未納状況：0410030, 0410033, 0410034, 0410035, 0410036, 0410037, 0510043, 0510044, 0710059, 0710061, 0910071, 1210075, 1210076, 1310079, 1310080, 0430001, 0430004, 0430005, 0530008, 0530015, 0730023, 0730025, 0830032, 0930034, 0930038, 0930039, 0930042, 0930043, 0930044, 1030047, 1030048, 1130050, 1130051, 1230052, 1230053, 1230055, 1230056, 1230057, 1230058, 1230060, 1230061, 1330062, 1330064, 1430067

Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・吉川隆範

連絡先：医学統計研究会 事務局 [吉田 舞・後藤 孚]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax：06-6835-8790 / e-mail：bra_goto@ybb.ne.jp / URL：<http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。